8） リーチをしたときは、終局時かならず手の内を開示すること

9） リーチ後の「暗槓」の扱い

・認められる場合

・ カンにより、待ち牌の種類、面子構成及び役が変わらないこと

・ ツモってきた牌でのカンであること（送りカンはできない）

・認められないケース

・ または をカンすると、 カンチャン待ちの形がなくなるので不可。

・ カンをすると、ピンフの形が崩れてしまうので不可

・上がり牌がないときのリーチ

・待ち牌が全部出きっているか使われていて、上がることが理論上あり得ないときは、リーチはかけられない。

かけるとチョンボ扱いとなる。

3． フリテン関係

1） メンゼンの場合も喰っている場合も、ツモれば上がりＯＫ（ロン上がりはできない）

2） 13面待ちで国士無双をテンパイしたが、その13のうちの1つを捨てているときは13面全部がフリテンとなる

4． 反則行為関係

① 罰符（通常チョンボといっている、満貫点支払）

1）・ 罰符は、重大な反則に対して科される罰則で、反則者が対戦相手3人に対して罰符（満貫点）を支払ったうえで、元の局をやり直す

・ チョンボと上がりが同時に発生した場合は、上がりが優先、チョンンボは不問

2） 上がり時の間違い

（1）上がり牌でない牌を上がり牌と間違えて上がりを宣言したとき

（2）一巡以内に捨てられた上がり牌と同じ牌に対して上がりを宣言したとき

（3）フリテンでロン上がりを宣言したとき